

いずもぎき

# 議会だより

第102号

2019 平成31年1月24日



## 12月定例会

### もくじ

12月定例会 .....	2
補正予算質疑 .....	4
集合写真 .....	5
全員協議会 .....	6
議会のうごき .....	7
一般質問(5人が町政をたず) .....	8
行政視察報告 .....	14
委員会視察 .....	15
みんなの声 .....	16

議会だより  
QRコード



# 国道352号線改修工事に伴う (旧出雲崎小学校グラウンド)

## 代替え地整備工事費

# 12月定例会

## 合計1,440万円

### 12月定例会で決まった補正予算

(△は減額)

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第5号)	4,240万円	33億6,478万円
特別会計		
国民健康保険事業 (第3号)	4,460万円	6億 437万円
介護保険事業 (第3号)	△ 2,967万円	6億8,063万円
簡易水道事業 (第2号)	△ 843万円	1億8,228万円
農業集落排水事業 (第2号)	△ 536万円	1億2,412万円
下水道事業 (第2号)	203万円	1億6,080万円

※金額は千円未満を切り捨て

#### 一般会計補正予算 (第5号)

主な歳出 (△は減額)

- ・地域公共交通準備費補助金 (※1) …… 27万円
- ・多世代交流館事業費 (備品購入費) …… 89.1万円
- ・松本バス停用地買収費 …… 130万円
- ・町道路新設改良費 (測量設計委託料を含む) …… 690万円
- ・防災対策費 …… 146.9万円
- ・北前船日本遺産推進協議会負担金 …… 10万円
- ・保育対策総合支援事業費補助金追加 …… 310万円
- ・障害福祉サービス費追加 …… 1393.9万円
- ・町民体育館屋上防水改修工事設計業務委託料 …… 78.9万円
- ・農地集約、集約化促進及び農業機械整備補助金 …… 124.8万円

#### 介護保険事業特別会計補正予算 (第3号)

- ・地域介護予防活動支援報償等 (※2) …… 25.6万円

大型の積み木やテントを購入するんだ。

北前船日本遺産推進協議会に加入するための負担金だよ。

平成24年に導入した避難行動要支援者台帳システムをクラウド化して、土砂災害区域等のハザード情報をGIS (地理情報システム) に重ねてバージョンアップを図るんだ。

平成31年に本屋根・下屋根部分の防水シートの張替工事を実施するにあたり、設計業務を行うんだ。

### 可決した条例改正など

**12月定例会**  
定例会は12月6日から12日まで7日間の会期で開かれました。議会報告2件、委員会発議1件、専決処分1件、平成30年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正、町道路線の認定など議案10件が提出され、慎重審査の結果、原案のとおり可決・承認しました。

- 町職員の給与に関する条例の一部改正  
人事院勧告により民間給与との格差是正のため
- 町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正  
法律の一部改正によるもの
- 町議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正  
法律の一部改正によるもの

### 教えて 定例会



※1  
地域公共交通準備費補助金ってなに？

平成31年4月から予約制乗合タクシーを運行する「デマンド交通」を実施するための準備経費補助だよ



※2  
地域介護予防活動支援報償ってなに？

平成31年開設予定の八手地区「新しい居場所」事業の立ち上げで協議体委員の会議報償だよ

人権擁護委員の推薦に同意

遠藤良法氏 (羽黒町)  
(平成31年4月1日から3年間)

ここが聞きたい!!

12月6日

# 補正予算 質疑

主なもののうちから抜粋して掲載しています

いるが、安全面を考えて検討して欲しい。

**総務課長** 周辺地域の消火栓は末端であるため、十分な活用が期待出来ない。ため池の水量が多く、有効活用したいと考えている。今後、維持費がかさむ等であれば、適切な消火力強化の施設整備を考えたい。



旧出小のため池

## 消防水利浚渫工事

82万円

**加藤議員** 米田の消防水利だが、安全性や再度浚渫をする可能性を考えると、そのため池を整備するよりも、防火水槽を設置する検討も必要ではないか。

**中川議員** 旧出雲崎小学校では、ため池に子どもたちの安全を確保するように気を使っていった。プールもあり、利用出来る水は十分ある。今は福祉施設が入って

## 多世代交流館 室内遊具

59.1万円

**小黒議員・加藤議員** 高価に思えるが、どのように購入を決定したか。使用方法、遊び方の工夫はあるか。

**子ども未来室長** 数社からの見積もりで、安価な物を選定している。使用に際しては、保育士が中心となつて研修を行い、子どもたちに指導する。

## 新生活スーパージマイ取得・リフォーム支援補助金追加

502万円

**諸橋議員** 高額追加で喜ばしいが、件数の詳細はどうか。

**建設課長** 予算上は16件分だが、申し出は18件あり、新たに3件の見込みがあるため、5件分の追加補正である。

の職員を置くのか。  
**産業観光課長** 現在17の団体があるが、その中から事務をまとめていただく方に、必要な時、来ていただく形で現在考えている。

## 地域公共交通 準備費補助金

27万円

**高橋議員** どのような準備が必要と考えているのか。

**総務課長** 来年度4月から事業実施に向けて、今年度中に準備を進めるもので、初度備品の補助とオペレーターの研修費用等を考えている。

## 町道維持修繕工事減

△120万円

**中野議員** 町道の修繕の要望は多い。計画的に整備すべき。

**建設課長** 町道六郎女線の排水路整備を計画していたが、短く整備できたため減額となった。ポール等安全設備分は追加している。道路修繕料等で対応する。

## 松本バス停用地買収費

130万円

**中野議員** 購入した土地単価設定の基準はどうか。

**建設課長** 所有者の方が、過去に購入された土地であり、交渉の結果、売買で不利益がないよう、設定した。  
**安達議員** 現在のバス停にある石仏はどうするか。バス停は新築するのか。

## 社会福祉費 相談員賃金減

△180.6万円

**高桑議員** どのような相談員の方が雇えなかったのか。今後の見込みはどうか。

**保健福祉課長** ハーモニニーに委託している業務だが、昨今の相談内容は多岐にわたるため、町としても雇用したいと考えていた。新年度、検討していきたい。

## パソコン カラー複合機購入

40万円

**小黒議員** 多面的機能支払交付金事業で西越センターに広域活動組織事務局を設置のためとの事だが、常駐

## 障害福祉 サービス費追加

1393.9万円

**小黒議員** サービスの利用はどのくらい増加したか。

**保健福祉課長** 生活介護・短期入所・自立訓練等のサービス費について、11月までの状況から年度末までの不足見込額を追加している。



## 議長新年あいさつ

議長 仙海直樹

あけましておめでとうございます。

皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成もまもなく終わりを告げようとしている中、近年では、地方分権改革の進展により、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められています。

そのような中で、住民代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなってきました。

一方で、全国的に見ても議員のなり手不足が深刻化しております。我が町も決して例外ではありませんが、当議会も自主的な取り組みを積極的に展開し、議会の力を高めると共に、町民の皆さまに寄りそいながら負託に応えて参ります。

本年も、10名の議員が全力で頑張つてまいりますのでよろしくお願いたします。



～新議会で 更なる飛躍を遂げるよう  
まちづくりに努めます～

出雲崎町議会議員一同



# 全員協議会

主なものから抜粋して掲載しています

## 第9回 10月15日

### ●海岸地区空き家再生 町づくり事業について

**総務課長** 官民連携して空き家対策を推進していくため、活用可能な町有物件のある地区を、5つのエリアに設定し、整備構想を定めた。

1つ目は、尼瀬3区から諏訪本町で、本町の観光拠点である天領の里がある。そこを中心として、観光周遊できるような形での構想を掲げている。

2番目は町家再生計画で、伊勢町から稲荷町である。現存する妻入り住宅を活用しながら歴史文化資源を今に伝えるエリアとしての整備を考えている。

3番目は、防災安全エリアで、岩船町から住吉町エリアである。住民生活に根差した安全安心と

いった形で整備を推進したい。

4番目は賑わい活性エリアで石井町から羽黒町1区のほぼ中央部にあたるが、地域コミュニティの創設、定住促進に向けた観光整備をしたいという構想を練っている。

5番目は民活エリアで羽黒町2区から木折町2区にかけてのエリアで、民間企業の活力を生かし町有物件の売却及び貸し付けを行っていききたい。適宜柔軟な取引が行えるよう空き家バンク等を活用しながら整備していききたい。

31年度は詳細を固めて32年度あたりには整備を進めていきたい。

### ●デマンド交通について

**中野議員** 駅、医療機関等においてはどこまで考えているのか。

**総務課長** デマンド交通は、ドア・ツー・ドアであるので、全て含まれる。町内であればどこでも行ける。

**加藤議員** アンケート調査を徹底し、町民ニーズを把握したうえで、進めてほしい。運行日は、年末年始を除く毎日で良いか。乗れない場合の対応はどうか。

**総務課長** 日曜日も含め、毎日運行する。著しく予約が多ければ、場合により、次の便をお願いすることも考えられる。

**三輪議員** 観光客には、交通機関が不便だと指摘されている。事前登録不

要とあるので、観光客も利用できるか。

**総務課長** 町民の生活の足を確保することが大前提であるが、観光客でも利用可能である。

**高桑議員** 受付の窓口で複数人で見ることが大事である。情報を共有しながらの受付が非常に大切になる。1時間の枠の中で、来ない、着かない場合に町民から苦情がでることも考えられる。

**総務課長** 検討していく。

### ●街路灯の設置について

**中野議員** 東北電力から街路灯10基いただいたが、設置場所と今後の見通しはどうか。

**総務課長** 設置場所は教育課と学校と協議して、最も暗い場所を優先的に、毎年予算の範囲内で順次設置していく。

## 第10回 12月12日

### ●木造船の漂着について

**総務課長** 近年、北朝鮮からと思われる不審船が発見され、本町も過去2回漂着している。普段、不審物には近づかない、直に通報する広報を回覧やポスターで行っている。今後関係機関と連携をとり広報していく。

**高橋議員** 一番心配するのが、防疫面での感染症である。回覧等で周知しているが、海岸降り口等に警告看板の設置を提案する。

**総務課長** 今ほどの提言を含め、検討する。

### ●地域公共交通に関するアンケート調査結果について

**総務課長** 調査の目的は、新年度から開始したいデマンド交通に関する町民への意向調査である。貴重な意見を沢山いただいた。これらの意

見、アンケート結果を検討会で意見・分析して、年内に制度設計したい考えである。1月以降に新潟運輸支局との協議を進めたい。

**小黒議員** アンケートの回収・回答率が60%と低く、デマンド交通がわからない方が多いのではと感じた。今回のアンケート結果を公表する考えは。

**総務課長** 回収率等は、検討会で意見を頂く考えで、集計時点で若い方が多い地域での回収率が低く、海岸地域では多かつたと感じた。公表については、ホームページで公表し、広報等の掲載は検討する。

**加藤議員** 利用意向結果で「わからない」が多い。デマンド交通をもっと啓発しないと、うまくいかないと思う。意見の中にある町外への利用について、規制はあるが検討する必要があると考えられている。

総務課長 結果は指摘の通りで、内容が決まり次第、町民に丁寧に説明し利用していきたい。現行の制度では、市町村の区域を越えての運行は難しいが、今後検討する必要がある。

### ● 渋川地区広域圏臨海学校の譲渡について

総務課長 尼瀬地内の渋川臨海学校跡地の無償譲渡について申し出があり、土地無償譲渡契約締結に向け作業を進めている。

まえ、次のステップで改善し、有効利用して頂きたい。

### ● 北国街道妻入り会館指定管理者の指定取り消しについて

### ● イノシシの被害状況と対策について

産業観光課長 町では平成24年頃からイノシシの農作物被害が発生している。現在は、捕獲や電気柵の設置で減少している。

加藤議員 臨海学校跡地は避難場所になっている。無償譲渡締結後の雑草等の管理をどの様にしていくのか。

総務課長 避難場所でもある為、町の方で草刈等適正に管理していく。

三輪議員 被害金額に哇、農道等の被害も含まれているか。電気柵の子どもたちへの周知対策を考えているか。

教育課長 先般「NPO 法人ねっとわーくさぶら」から妻入り会館の指定管理を平成31年3月31日で終了したい申し出があった。理由は、年間のNPO 法人の受託金額が消費税課税対象額を超え、利用者に料金値上げ等の負担がかかる為である。今後の指定管理は、現在の管理人で別組織を立上げ、指定管理をお願いする考えである。

### ● ふれあいの里営業時間延長期間の利用状況について

保健福祉課長 入浴施設について、9・10月の毎週金曜日に営業時間延長を行った。前年と比較して良い結果であり、延長要望もあるので、今後も前向きに考えたい。

産業観光課長 農道等の被害は含まれていない。子どもたちへの周知は、猟友会と協議し学校にPRしたい考えである。

加藤議員 組織だけを分け、今まで通り業務を行うのは、疑問がある。町民が疑問を持たない様、組織も業務もしっかり分けるべきではないか。

教育課長 近日中に打合せがあるので、指摘事項をしつかり協議したい。



三輪議員 今後、利用料金の検討をして頂きたい。

総務課長 デマンド交通の実施時は愛称を付け、皆さんに知ってもらう考えである。

高橋議員 カタカナ表現は分かりにくい。制度設計の中で、名称を分かり易く、考慮・検討するよう提案する。

## 議会のつぎ (主なもの) 平成30年10月~12月

- 10・4 議会報特別委員会 (議会だより第101号)
- 11 議会報特別委員会 (議会だより第101号)
- 11 全議員研修会 (後期) (新潟市)
- 18 出まえ議会 (八手地区農村環境改善センター)
- 24 出まえ議会 (妻入り会館)
- 25 出まえ議会 (藤巻コミュニティ消防センター)
- 26 出まえ議会 (多世代交流館 きらり)
- 27 町村自治に関する研修会 (新潟市)
- 7 行政視察 (石川県津幡町) ↓ 詳細は p14
- 12 行政視察 (石川県志賀町) ↓ 詳細は p14
- 13 町との新年度予算意見交換会
- 19 第62回町村議会議長会全国大会 (東京都)
- 21 総務文教常任委員会
- 27 学校訪問 ↓ 詳細は p15
- 30 議会運営委員会
- 6 12月定例会招集日 ↓ 詳細は p2、3
- 7 議会報特別委員会 (議会だより第102号)
- 7 社会産業常任委員会
- 7 総務文教常任委員会
- 10 12月定例会2日目 (一般質問) ↓ 詳細は p8~13
- 10 議会運営委員会
- 12 12月定例会最終日
- 19 第10回全員協議会 ↓ 詳細は p6、7
- 19 社会産業常任委員会
- 20 町内観光施設等視察 ↓ 詳細は p15
- 20 議会報特別委員会 (議会だより102号)

# 一般質問

## 町政を問う

5名の議員が質問

1



中川 正弘 議員

質問項目

海岸地区空家等再生まちづくり事業計画について

2



中野 勝正 議員

質問項目

漁業権制度の見直しによる町の対応は

3



小黒 博泰 議員

質問項目

今後の出雲崎町はどうなる

4



高桑 佳子 議員

質問項目

当町における自助・共助の取り組みを引き出す公助の在り方について

5



高橋 速円 議員

質問項目

老朽化した町営住宅について（その後の進捗）

12月10日の一般質問にて、婦人会の皆さんをはじめ多くの方から傍聴していただきました。





中川 正弘 議員

# 海岸地区で人口対策を

町長

## 海岸地区の魅力を作り 平行して進める

**中川** 海岸地区の人口減少は加速度的に進んでおり、すぐにも手当てをしなければならぬと考える。今回出された町有地の活用計画をベースにお尋ねする。

天領の里から旧道へ観光客を回遊させようとしているが、過去の反省の元、妻入りの町並があるという、意識させるモニュメントが、天領にも、町並みにも必要ではないか。

**町長** 町並み協議会での意見であり、考えていない。

**中川** 旧津又商店を二百万かけて小規模改修すると言うが、全面改修の方が手戻りにならず良いのではないか。

**町長** 旧来の形を残し、最小限の初期投資で、その中で母屋の活用を探る。

**中川** 海岸旧庁舎跡地

に、災害に遭っても言いように、コンクリート製で一階は、下駄を履かした駐車場、二・三階に集合住宅を作れないか。

**町長** 災害のイエローゾーンで、日当たりも悪く、住宅には適していない。ここは防火水槽を設置し、消防詰め所等の整備をする。

**中川** 石井町の旧安部宅は、コミュニティサロン・短期移住者向け併用住宅が計画されているが、町の一等地で、町をアピールする、御輿会館が良いのではないか提案する。



石井町計画予定地

**町長** 同感ではあるが、政教分離の壁があり難しい。今の段階で、対応できるか否か十分に検討する。

**中川** 災害が発生すると、住民は海岸バイパスへ車で移動する。羽黒町と鳴滝町の間にアクセス道路はできないか。

**町長** 海岸へ出る道路が不足していることは承知している。建設の方向で対応する。

### 海岸地区の環境整備と 並行して人口対策を望む

**中川** 住民は環境整備より、人口対策を望んでいるように思う。今回の空家等再生まちづくり事業は議員として理解できるが、地区住民の希望とズレがある様に思う。尼瀬風呂屋・旧海岸庁舎・高島下駄屋跡地は、まず住宅用地としての活用を考えるべきではないか。売却地価は一万でも、た



改修予定の津又邸

だでも良い、五年以内にか家を建て夫婦子供と住む事を条件にすれば良いと思うが。

**町長** 基本的に同感である。社会的に、子育て政策に、他の面で、他町より優越して、投資をする前に、まず、魅力を作る。どこでも住宅用地として活用することはできないが、積極的、柔軟に対応していく。



# 漁業権制度の見直しによる町の対応は



中野 勝正 議員

町長

## 良く話し合いをし、漁業が後退しないように取り組む。

将来にわたって安心できる漁業に

中野 国会に於いて水産改革関連法案が可決された。

当町も新潟漁業協同組合があり、正組合員39名、準組合員7名の皆さんが生計を立てている。大きな船を持っているごち網漁業者は6名、磯見漁業者は24名である。

町の重要な産業と認識している。漁業を後退させないためにも、漁協や漁業者の役割は大切であるが、町長はどのように考えているか。

町長 町としても漁業は一次産業の柱として、なくてはならない産業と認識している。

漁業権の優先順位は

中野 漁業権は国が都道府県（新潟県）に割り当て、県から各漁業協同

組合に割り当てている。現在の漁業権の優先順位はどのようになっていくか。

町長 都道府県（新潟県）において手続される。優先順位の規定は定置漁業権、共同漁業権、養殖（区画・特定）漁業権などに分かれていて、決められた水域で独占的に特定の漁をする。

当支所は共同漁業権の中で事業を展開している。



卸売市場

売上げが落ちている

中野 出雲崎支所としては、売上げが右肩下がりで落ちている。支所としても、県の水産課の指導を受け、11月から防波堤内側に海藻の種をまいて収穫できるように前向きな姿勢で取り組んでいる。

町として、さらなる支援は考えられないか。

支援をする

町長 一次産業の中で、農業と比較すると、漁業の支援は少ないように思う。国や県にも働きかけた。さらに漁業協同組合とよく話し合い、今以上に取り組んでいく。



ごち網漁業船



小黒 博泰 議員

# 今後の出雲崎はどうか

町長

## 町民の意見を聞き事業を行う

### 今後の目玉事業は

足元を固めた事業を行う

**小黒** ひまわりハウス・多世代交流館・団地造成など人口減少・子育て問題などに係わる事業を行ってきたが、今後、目玉となる事業を考えているか伺う。

**町長** 松本ひがし団地の売れ行きを見極め、今後も団地造成、住宅問題も視野に入れ考える。更に、農業問題である農業基盤整備も積極的に進める。また、災害に対する防災体制、空き家対策も本格的に行いたい。今後は、見てくれでは無く、町民の声を聞いて、足元をしっかりと固めた基本的な事業を行っていく考えである。

**小黒** 新年度事業であるデマンド交通と水道事業の黒崎水源改修についての考えを伺う。

**町長** デマンド交通は、町民の意見を取りまとめ、効果的に新年度事業で進めていきたい。水道関係は、良い水質と安

全な水を提供する努力をし、黒崎水源は用地を確保してあるので、色々な面を考慮し、早急に事業も進めていきたい。

**小黒** デマンド交通は、利用者の事を考え、この町に合った交通手段を考えて頂きたい。黒崎水源は地域住民の要望もあるので、早急に事業を実施して頂きたい。

### 一次産業の担い手不足対策は

基本は収益が大事

**小黒** 町長は、前回の一般質問で、一次産業が一番大事と答弁された。当町も一次産業の担い手不足が問題であるが、町としての考えを伺う。

**町長** 一次産業の担い手を養成して持続可能にして行く事は、喫緊の大きな課題と考える。基本的には、収益が無ければ、若い人が後継者に就かないと考える。今後、農業・漁業とも後継者を育成する対策を、町として全力を挙げ

て行く考えである。

**小黒** 担い手不足対策で、外国人労働者やインターン生などに、行政として協力する考えはあるか伺う。

**町長** 入管法改正で、制度運用が検討されると思われ、場合によっては視野に入れる必要があると考える。今後を見極め対応したい。

**小黒** インターン者に対しての考えは。

**町長** 基本は、地域おこし協力隊を軸にし、短期体験者の体制も今後準備し整える。

**小黒** 短期受入も、継続しないと成果は出ない。今後の受入体制、住居等を十分整備し、対応して頂きたい。

### 9期目出馬の意思は

しかるべき時期に表示

**小黒** 最高齢首長になり、健康面も全く問題が無いと感じるが、現時点で再来年の9期目の出馬の意思を伺う。

**町長** 2020年2月には、8期目の任期が終わる。今日在るのは、議会、町民、後援会各位の力添えがあるからで、改めて感謝する。「全力投球」「生涯現役」を目標に、しかるべき時期に意思表示をしたい。

**小黒** 町長選8回のうち、5回は無投票で、議員選も2期無投票であった。町長は「若い人が議員や首長を志すための環境作りは私たちの責務だ」と言っているが、今後の施策などの考えを伺う。

**町長** 基本的に、議員とし町政に参画するなら、拘束されない中で意思表示し、町民の判断を受けられる環境を作ってもらいたい。現在の議員報酬では生計は立てられないと思う。議員として働いて頂くなら、規制緩和しなければ、若い人は出来ないと思う。

**小黒** 今後も、町民・議員の意見を聞き、より良い町政に務めて頂きたい。

# 自助・共助のための公助の在り方は



高桑 佳子 議員

町長

## 厳しさを増す環境に対応していきたい

町長

6月に高齢者の

諸団体の横の連携を取ることが重要で、調整役を置くべきであるし、もつと分かりやすく町民に周知する必要がある。これからのように進めて行くか伺う。

### 生活支援体制整備事業の 今後は

これから、当町の人口減少や少子高齢化を乗り切つて行くには、今以上に地域の結びつきを強固にしなければならぬ。自ら、あるいは地域住民同士が助け合つていく「自助・共助」を引き出す行政の「公助」について伺う。

高桑

地域に助け合い活動を広げるため、「生活支援体制整備事業」が発足した。今後、地域の助け合いを考える時に、中心となる事業として発展させていくべきと考える。協議体に参加している

### 学校地域支援整備事業を 充実させて

方々にアンケートを実施し、整備事業協議体のメンバーで先進地視察を行い、「新しい居場所」事業を立ち上げる。地域で賛同し、協力いただける方もあり、まず、八手地域で始めて、今後町内に広げていきたい。

高桑

若い世代の協働に働きかける施策が少なくと感じている。PTA活動を支援し、そこから輪を広げていくために、活動に関するメニューを整理して提供するなどの方策を考えられないか。

町長

PTAは大きな組織であり、親御さんたちから協力して今の教育課題に取り組んでもらうことは理想で、その先に繋がっていくと思う。時代が変わって、今は難しい課題もあるように感じているが、努力していきたい。

たい。

### ファミリーサポート事業を 実施すべきでは

高桑

子ども子育て支援事業において、「ファミリーサポート事業」の実施を望む声が挙がっている。若い世代を巻き込んだの助け合い事業であるが、当町の規模では難しいことから、常に高い要望がありながら、メニューからは外されている。今後、実施に向けて検討をする考えはないか。



12月に行われた新しい居場所づくり事業  
(八手改善センター)

町長 制度としては今の時代に即応したものを考えるが、50人以上の会員数が必要要件となっていることから実施できていない。利用人数の把握が必要と思われるので、2月に実施予定の、第2期出雲崎町子ども子育て支援事業計画策定に関わるアンケート調査の中に、この事業に関わる設問を設ける。住民ニーズの結果を受けて、バランスを取りながら事業実施をどうするのか検討をしたい。



高橋 速円 議員

# 来年度予算に、公営住宅など借地解消をどのように盛り込むのか？

町長

## 町は来年度、借地は解消する、との方針でやる！

**来年度予算にどう反映するの？**

**高橋** 以前、公営住宅である大門、米田住宅の老朽化に關し、まず借地解消をすべきだと質問した。町長答弁では、借地解消を明確にされ、五年スパンで考えたいと答弁された。私は、五年は長いと考えるが、いずれにしろ来年度どのように予算化されるか伺う。

**借地はダメだ、借地はしない米田住宅を先にする**

**町長** 先ず借地は解消する、ということをお前提に大門住宅の二棟は取り壊し暫時空き地にする。そして不動産鑑定士などからの専門的な評価をもとに適正であるかどうかの判断の中で、先ずは棟数などから米田住宅を直ちに用地買収に着手したい。また、大門住宅については交渉にに応じていただけない場合はそこ

には建てない。区画ごとに整理をつける。

なんとしても借地はしない。地権者の皆さんのご理解をいただけるものなら買収していきたい。価格もあるが、予算措置の問題もある。

町の土地にして再利用を図る。町の方針をはつきりさせてご理解を得たい。それが駄目な場合は町は決断し、解体して返す。

財政的には大変な負担になる。軽減させていかなければいけない。何年間ということは一概には言えないが、できるだけ早くしたい。

### 町有地に建てる！

**高橋** 要は町有地に建てるということで理解してよいか。来年度予算にしっかりと反映させてほしい。

**来年度は解消、と方針をはつきりする**

**町長** 私の時代で借地はしていない。買えない場所は買わないでいい。新年度、基本的に町は借地を解消する、という方針でやっていく。

### 米田の遊歩道も！

**高橋** 借地解消に關して米田の遊歩道もほとんど利用されていないところがある。早急に解消すべきではないか。

### できたら解消したい

**町長** 基本的には同感だが、この事業の補助金などを整理してできたら解消したい。



静かに新年を迎えた大門住宅と米田住宅

# 行政視察報告



11/12

石川県 津幡町 つばたまち

## 町営バス・福祉バス事業について、定住促進の取り組みについて

### 町の概要

津幡町は石川県のほぼ中央に位置し、北陸の中核都市金沢市も通勤圏内であり、古くから交通の要所としても栄えた歴史のある町である。

面積110・59kmのうち山林が約51%、人口は平成30年4月1日現在で37,618人、高齢化率は22%である。

### 研修内容

現状のバス事業については、平成3年に民間路線バスの撤退に合わせて運行を開始したもので、順次見直しをされ、現在は有料で毎日運行される10路線の町営バスと、無料で福祉施設や医療機関の利用を目的とした12路線の福祉バスが運行されている。

平成22年度から高齢者運転免許証自主返納者支援事業として、自主返納者に対しては無料利用券を交付している。これは、交付に制限は一切なく、利用者数は事業開始から約25倍の増加と、大きな成果を出している。

### 定住促進の取り組みについて

定住促進の取り組みについてだが、津幡町の人口は減少しておらず、緩やかに増加してきた。15歳未満の割合が高く、65歳以上の割合が低いという稀な自治体でもある。

定住促進の取り組みについては、地域の活性化を図り、活力あるまちづくりを推進するため、雇用を拡大した事業者や住宅取得者、新婚夫婦などを対象として幅広く制度を実施、三世代ファミリー同居を推進する事業も行っており、ほとんどが奨励金を支給するというものであった。

### 所見

長い時間、長い年月を掛けて、それぞれ継続的に取り組んでいる。

何が町の課題であるのかを常に考え、協力して状況を掴み、分析し、提案していくことは大切だと強く感じた。今後の当町の発展のために活かしていきたい。(安達一雄)

11/13

石川県 志賀町 しかまち

## 移住定住促進事業 定住対策に関する提言について

### 町の概要

志賀町は、能登半島中央部に位置し、人口20,722人、世帯数8,082世帯、面積246・76kmで66%を林野が占めている、リゾートタウンである。豊かな自然に恵まれ、国定公園や志賀の里リゾートなどの多様な観光資源を抱えている。また、工業団地への企業誘致などにより第二次産業人口も増加し、志賀原子力発電所の立地でもある。

### 研修内容

町が行っている移住定住促進事業と、議会が取りまとめた定住対策に関する提言についての説明を受けた。

移住定住促進事業は、少子高齢化が続いている中での助成制度や支援制度、官民協働施策、情報発信の取り組みなどの説明を受けた。

定住対策に関する提言は、議会です平成26年7月に定数8名からなる「定住対策特別委

### 員会を設置し、13回の委員会

で基本計画と提言を取りまとめている。平成27年の改選後の初議会でも、再度委員会を設置し、先進地視察や委員会での検討を重ね平成28年11月には、提言書の改訂版を作成している。

特別委員会では、多くの資料から人口対策に大きく影響する6分野について、現状把握、課題、問題点の調査と検討を行った。その結果を踏まえ、今後取り組むべき定住対策の全体像を、5分野34項目に分け基本計画を作成し、提言していた。

### 所見

官民協働施策や移住者の促進、女性を焦点とした定住施策は共感を得た。

議員として町の課題は何かを常に考え、提言する事の重要性と必要性を勉強させて頂いた。(小黒博泰)

# 委員会視察・調査報告

11/29

## 総務文教常任委員会

11月29日に、総務文教常任委員会では、出雲崎小中学校の視察を行いました。まず、出雲崎小学校では、新設された保健室のシャワー室や駐車場の状況等を確認し、学校長から学校指導方針の説明を受けた後、全学級の授業を見学しました。

知徳体それぞれの取り組みのなかで、今年度は特に、仲間意識の醸成を目的に、たて割班中心とした活動を増やしているとのことでした。高学年のリー

ダーシップをはじめ、各学年における児童の役割を果たし、自尊心を高めることがねらいです。先般、体育委員会が行った全校ドッジボール大会では、学年の身体能力差に配慮したルールを自分たちで決め、全学年混合で楽しく試合をするなど、成果が現れているようです。

次に、出雲崎中学校では、学校長から学校経営計画について説明があり、今の生徒の傾向として、自分に自信が持てない生徒が多く、自己肯定感を高めるための機会を持つ等、積極的に進めているとのことでした。特別支援教育では、県や町から職員の加配があつてありがたいが、個別対応をとる状況が多く、引き続きの配慮と有資格者の配置を希望したいとのことでした。

また、生徒の対応とともに職員の働き方改革も力を入れて実践していました。今回の現地調査を踏まえ、学校現場や行政と協力しながら、出雲崎の子どもたちの教育環境の整備・改善に努めてまいりたいと考えます。

総務文教常任委員長  
高桑 佳子

12/19

## 社会産業常任委員会

第2回

12月19日、天領の里、心月輪の営業状況報告と、今後の取り組みについて現地調査を行いました。

天領の里は、来客数、売上は現状維持し、来なければ買えない、食べられないものを町内関係各所と提案を出し合い、良寛牛乳や商工会でソフトクリーム、コーヒーカーテラ開発販売、ぽんだらバーガー、サザエの炊き込みなど出雲崎の特産品を積極的に勧め、顧客満足度UPや冬期来客確保、接客対

応教育などで交流人口拡大に努めています。改善要求として時代館との渡り通路の見直し、時代館受付無料フロアーから、冬場荒れた日本海の景観観賞スペース確保や魅力ある催しで時代館来客者を増すよう求めました。

心月輪ブラッサリーカフェ・ルポは、客数、売上が減少し、原因として夜間出歩かない地域性、冬期は客が来ないなどで、光熱水費、食材ロスの削減等を考慮し、営業日や時間を縮小したが、来客数やお客様満足度を上げるよう客の口コミの



天領の里で説明を受ける

社会産業常任委員長  
加藤 修三



**今** 年の夏、僕は出雲  
 崎町の海岸地区で  
 2ヶ月を過ごしました。  
 普段とは異なる環境で、  
 これだけの期間を過ごす  
 のは初めての経験でし  
 た。いきなり来たにも関  
 わらず、出雲崎町の皆さ  
 んはとても優しく、面倒  
 見がよく、面白い方ばか  
 りでした。子供は少なく  
 なった：などの声も聞か

れましたが、出雲崎町の  
 子供たちは東京で見る子  
 供達より何倍も元気でい  
 い子達ばかりでした。特  
 徴的な建築が生み出す芸  
 術品のような街並みに加  
 え、このような町民の  
 方々の気質も出雲崎町の  
 大きな魅力なのではない  
 でしょうか。  
 本当に2ヶ月間ありが  
 とうございました。また  
 必ず行きます。その時は  
 どうぞよろしくお願い致  
 します。

## みんなの声

### 出雲崎移住体験事業 海岸地区インターン生

やはぎけんご  
 矢萩 健吾

1月13日、川西集落では、  
 地域の子どもたちから年配  
 の方まで集まって、獅子舞と  
 餅つき大会がありました。  
 十数年前から途絶えてい  
 たこの行事を、復活させた  
 きっかけは、町外から転入さ  
 れた方の一言でした。「田舎  
 に来たら、獅子舞やら賽の神  
 とか、正月行事があると思っ  
 ていたのに、ないね。」「よし、  
 やろう!」と有志で立ち上  
 げ、4年目になるそうです。  
 今では白と杵でお餅をつ  
 く機会も少なくなりました。  
 小さなお子さんから小学生、  
 中学生、お父さんお母さん、  
 おじいちゃん、みんなであつ  
 いたお餅の美味しいこと!  
 以前は、町内各地でこうし  
 た年中行事が、多く行われて  
 いたと思います。ぜひ、この  
 笑顔あふれる行事を次の世  
 代に伝えていきたいもので  
 す。  
 (高桑佳子)



あんこで?きな粉で?お雑煮で?

## 表紙の小話

編  
 集  
 後  
 記

新年明けましておめで  
 とうございます。  
 平成最後の12月定例会  
 も終わり昨年を振り返る  
 と、国内では西日本豪雨、  
 大阪や北海道の地震、台  
 風被害等災害が多い一年  
 でした。

議会としても町民の安  
 心安全の為に議論をしな  
 がら対策に取り組んでき  
 ました。  
 議会では、議員のなり  
 手不足を解消しようと取  
 り組んでいる長野県喬木  
 村議会に研修に行ってい  
 きました。当議会も真剣に  
 考えなければならぬと思  
 います。

本年も当議会に対し  
 て、町民の皆様からご意  
 見やご指導を頂きたいと  
 思います。町政へ提言し  
 ながら、議員として行政  
 のチェック機能を果たし  
 住民福祉の向上に努めて  
 参ります。

結びに、本年も町民の  
 皆様が健康で、活躍され  
 ることをお祈り申し上げ  
 ます。  
 (中野勝正)

#### 議会報特別委員会

委員長 高桑佳子  
 副委員長 小黒博泰  
 委員 安達一雄  
 委員 中野勝正

議会だより発行予定 発行は年4回。発行日は4月24日・7月20日・10月23日・1月24日です。 議会の傍聴にぜひおいでください。